町田市スポーツ推進計画アクションプラン進捗状況まとめ(2016年度)

アクションプランに掲載している76事業のうち、2016年度の進捗状況が概ね実施計画どおりであった事業が57事業、実施計画の進捗に遅れがあった事業が19事業あります。

[進捗状況の分類]

- ●【概ね計画どおり】2016年度実施計画の内容を7割以上達成したもの
- ●【進捗に遅れあり】上記以外のもの
- ●【新たな課題】各事業において実施計画で予定されていない新たな課題が生じている事業
 - ※数値でないものは、取り組み内容から総合的に判断しています

1. 地域におけるスポーツの推進

(1)子どものスポーツ推進

 $(1-1 \sim 1-8)$

概ね計画通り	進捗に遅れあり	新たな課題
7	1	0
/	(1-6)	U

(2)働き盛り・子育て世代のスポーツ推進

 $(1-9 \sim 1-22)$

概ね計画通り	進捗に遅れあり	新たな課題
10	2	1
12	(1-13, 15)	(1-21)

(3) 高齢者のスポーツ推進

 $(1-23 \sim 1-26)$

概ね計画通り	進捗に遅れあり	新たな課題
2	1	0
٥	(1–25)	U

(4) 障がいのある人のスポーツ推進

 $(1-27 \sim 1-31)$

概ね計画通り	進捗に遅れあり	新たな課題
4	1 (1-31)	0

〇概ね計画どおりに進んでいる事業の総括

ライフスタイル別のスポーツ推進は、概ね計画通り事業を実施しています。特に指定管理者が 行っている事業では、教室の開催数を増やし、参加者が目標値を上回る実績となっています。

○進捗に遅れありの事業の総括

スポーツ指導員登録制度の見直しに伴い、スポーツ指導員育成事業、学校教育へのスポーツ指導員の活用事業を見直すこととしました。また、講師派遣事業についても見直しを行うこととし、今後は、別の方法も視野に入れ、事業の目的を達成できるよう検討していきます。

夜間照明設備に関しては、目標の設置箇所数には達していませんが、小野路球場の整備を進めており、2017年の8月に使用を開始できる予定です。

○新たな課題

学校温水プール事業は、2016年度から事業を縮小して実施しています。今後の有効な活用方法を検討していきます。

「町田市5ヵ年計画17-21」にて、2017年度から子どもと高齢者の体力向上を目的とした事業を進めていくことになりました。地域スポーツクラブをはじめ、子どもと高齢者を対象としたスポーツ教室等の充実を図ります。

2. 「市民スポーツ」の環境づくり

(1)地域スポーツの場の整備

 $(2-1 \sim 2-8)$

		<u> </u>
概ね計画通り	進捗に遅れあり	新たな課題
E	3	0
5	(2-1,2,8)	U

(2)地域スポーツの仕組みづくり

 $(2-9 \sim 2-15)$

概ね計画通り	進捗に遅れあり	新たな課題
4	3 (2-9,13,14)	0

(3)既存スポーツ施設の有効活用

 $(2-16 \sim 2-18)$

概ね計画通り	進捗に遅れあり	新たな課題
2	(2-16)	0

〇概ね計画どおりに進んでいる事業の総括

新たなスポーツ利用の場の創出や既存スポーツ施設の有効活用について、小山沼陸橋高架下や 小山上沼公園内調整池、旧緑ヶ丘小跡地をスポーツ利用の場として整備していくことになりまし た。

○進捗に遅れありの事業の総括

地域スポーツクラブの設立・運営の支援について、整備数が目標値を下回っています。しかし、立ち上げには至らなかったものの、設立を働きかけた団体数が複数あり、立ち上げに向けて 準備をしています。

3. ホームタウンチームへの支援と協働

(1)交流の活性化

(3-1, 3-2)

概ね計画通り	進捗に遅れあり	新たな課題
2	0	0
(5) 田光十四		/2.2

(2)連営支援

 $(3-3 \sim 3-6)$

概ね計画通り	進捗に遅れあり	新たな課題
4	0	1
4	U	(3-4)

(3)広報・告知活動の充実

(3-7)

概ね計画通り	進捗に遅れあり	新たな課題
1	0	0

〇概ね計画どおりに進んでいる事業の総括

ホームタウン活動マッチング事業に関しては、地域祭事や地域貢献活動等への参加回数が、計画を大きく上回る実績となっており、各チームとの交流の活性化が進んでいます。

また、ホームゲーム観戦・参加環境充実化支援事業では、2016シーズンから、町田駅から競技場へ直行する連節バス(ツインライナー)の運行が実施されました。

その他、施策3に位置づけられているホームタウンチームへの支援と協働に関する事業全体は、 概ね計画どおり進んでおり、ホームゲーム観戦者数も、着実に目標に向けて増加しています。

○新たな課題

FC町田ゼルビアがJ2リーグで活躍しており、J1リーグ昇格を見据えたスタジアムの改修等の対応が必要になってきました。

資料2

4. 「トップスポーツ」の環境づくり

(1)競技スポーツの場の整備

 $(4-1 \sim 4-4)$

概ね計画通り	進捗に遅れあり	新たな課題
1	0	1
4	U	(4-1)

(2)競技スポーツの連携強化

 $(4-5 \sim 4-7)$

概ね計画通り	進捗に遅れあり	新たな課題
3	0	0

(3) 障がい者スポーツの活性化

(4-8)

概ね計画通り	進捗に遅れあり	新たな課題
1	0	0

(4) 顕彰制度・奨励制度等の活性化

 $(4-9 \sim 4-12)$

概ね計画通り	進捗に遅れあり	新たな課題
3	1 (4–12)	0

〇概ね計画どおりに進んでいる事業の総括

オリンピックキャンプ地招致について、東京2020オリンピック・パラリンピックを見据え、競技団体等の視察の受け入れや大規模大会の招致の実現、ボランティア事業の更なる醸成を行いました。特に、2019年ラグビーワールドカップ及び2020年東京オリンピック・パラリンピックキャンプ地招致事業については、複数のトレーニングキャンプや代表合宿等の受入を行い、輸送や宿泊等、2019年、2020年を想定した動きを実践しました。

○進捗に遅れありの事業の総括

全国大会等出場者祝金事業の祝金支給件数が目標には届きませんでした。しかし、ホームページ等を活用した周知活動等により、初めて申請する方からの問い合わせや相談がありました。また、今年度は2015年4月1日の要綱改正で新たに設けたオリンピック・パラリンピック出場者への支給を行いました。今後は、引き続き制度の周知活動行うとともに、申請の件数等を鑑み支給制度の内容を検討していきます。

○新たな課題

東京2020オリンピック・パラリンピック開催に向けて国や都による様々な施策が行われています。応援する国をホストタウンとし、地域との人的・経済的・文化的な総合交流を図るホストタウン登録制度を内閣府が提唱しました。町田市は南アフリカ共和国をホストタウン登録し、様々な機会をとおして交流を図っていくことになりました。

5. スポーツのまちづくり

(1)スポーツ・ツーリズムの推進

(5-1)

概ね計画通り	進捗に遅れあり	新たな課題
0	1	0

(2)公園等におけるスポーツ施設の整備

(5-2)

概ね計画通り	進捗に遅れあり	新たな課題
0	1	0

(3)広域スポーツのブランド化

(5-3)

概ね計画通り	進捗に遅れあり	新たな課題
0	1	0

(4)公共スポーツ施設のユニバーサルデザイン化 (5-4)

概ね計画通り	進捗に遅れあり	新たな課題
0	1	0

(5)スポーツ情報発信力の強化

 $(5-5 \sim 5-8)$

概ね計画通り	進捗に遅れあり	新たな課題
2	2	1
	(5-6,8)	(5-8)

〇概ね計画どおりに進んでいる事業の総括

東京2020オリンピック・パラリンピックに関連した講演会やSportsまちだホームタウン協議会が主催したスポーツに関する座談会等のスポーツフォーラムを開催しました。今後、東京2020オリンピック・パラリンピックに向けて、スポーツフォーラムの活性化を目指します。

○進捗に遅れありの事業の総括

スポーツ施設のバリアフリー改修について、今年度は実施に至りませんでしたが、障がい者の 競技スポーツ大会開催を視野に入れた整備の検討を進めました。

武相マラソン大会支援について、計画していた参加者数を下回っています。広報活動を、これまで以上に強化していく必要があります。

〇新たな課題

スポーツ·ツーリズム実施事業について、2014年度、2015年度の事業実施の結果、採算面の課題がありました。

総合的なスポーツ情報発信力の強化に関して、現在、様々な媒体での情報発信を行っていますが、今後はフェイスブックやツイッター等のソーシャルメディアを活用した即時性のある情報発信を検討していきます。